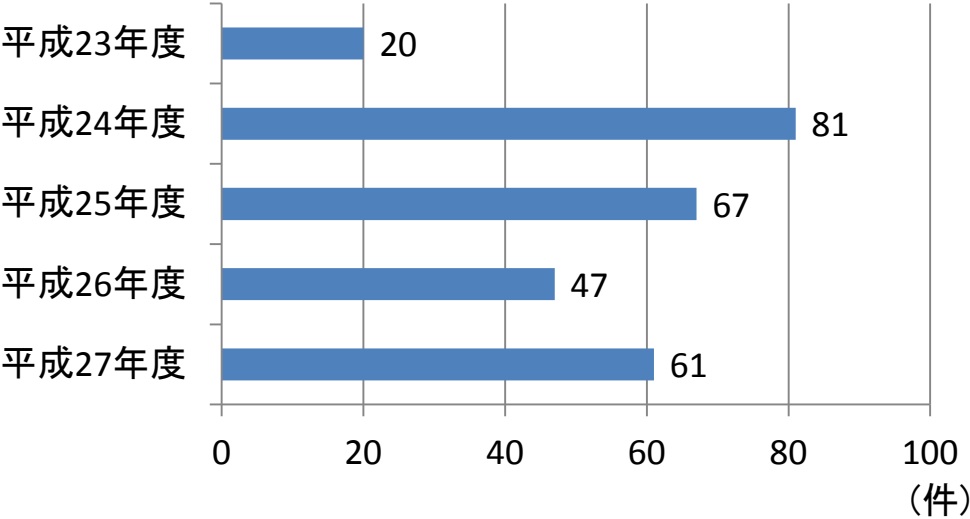


14 超重症児の手術件数

解説	超重症児とは、食事摂取機能の低下や栄養吸収不良などの消化器症状，呼吸機能の低下のために濃密な治療を必要とする小児です。超重症児の手術は健康な小児の手術に比べ，より高度な医療技術と治療体制が必要です。小児外科医や麻酔科医の配置が必要ですので，小児医療の質の高さを表す指標となります。平成21年度までは，算定要件が厳しいため，一部の国立大学附属病院で算定されるのみでしたが，平成22年度の診療報酬改定に伴い算定要件が緩和されました。一部の国立大学附属病院で積極的に取り組んでいる姿が見られます。												
実績	 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>手術件数 (件)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成23年度</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>平成24年度</td> <td>81</td> </tr> <tr> <td>平成25年度</td> <td>67</td> </tr> <tr> <td>平成26年度</td> <td>47</td> </tr> <tr> <td>平成27年度</td> <td>61</td> </tr> </tbody> </table>	年度	手術件数 (件)	平成23年度	20	平成24年度	81	平成25年度	67	平成26年度	47	平成27年度	61
年度	手術件数 (件)												
平成23年度	20												
平成24年度	81												
平成25年度	67												
平成26年度	47												
平成27年度	61												
定義	「A212-1-イ超重症児入院診療加算」及び，「A212-2-イ準重症児入院診療加算」を算定した患者の手術件数です。												